

女子栄養大学で「サケを食べようおさかな教室」を開催しました。



ミニレクチャーをする鈴木平光教授



サケのさばき方講習をスタートをする吉崎専務



参加した学生達（約 60 名）



吉崎専務の手先に見入る学生たち。講師背景にはモニターTVが2台設置され、手元を拡大。



捌き場面では血合いを吸い取るように新聞紙が使用された。



「捌きたい人は？」に応募した1年生
魚調理は好き、でもサケを捌くのは初めてと。



危なげな様子に吉崎専務が手を添えて支援



調理する学生たち、1・3年生が参加



炊き込みご飯にいくらのトッピング、
サケの吸い物、サケと野菜のオリーブ味噌合え



自らの料理味を味わいながら、笑顔を見せる
テーブルフレンド



楽しい笑顔で達成感を示す学生



おいしーと自己評価の笑顔の面々



食の安全、風評への対応をクイズ形式で
ゼミする日本原子力文化振興財団担当者



食の安全クイズに画面を見ながら解答する
学生たち



天井のモニター数は豊富にあり着席して
対応が出来る。



運営スタッフのお母さんとともに来場、学生
の動きに注目しながら勉強した蒼（そう）君
6歳。